

平成27年度行政事業レビューシート (総務省)

事業名	一般戦災総合データベース整備経費			担当部局	大臣官房		作成責任者			
事業開始年度	平成15年度	事業終了(予定)年度	平成26年度	担当課室	総務課管理室		室長 河合 暁			
会計区分	一般会計			政策・施策名	VII-1 一般戦災死没者追悼等の事業の推進					
根拠法令(具体的な条項も記載)	総務省設置法(第4条第91号)			関係する計画、通知等						
主要政策・施策	IT戦略			主要経費	その他の事項経費					
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	一般戦災死没者の追悼に資するため、一般戦災に関する収集資料等を電子情報化し、整理する。									
事業概要(5行程度以内。別添可)	一般戦災死没者の追悼に資するため、一般戦災に関する収集資料等を電子情報化し、整理する。 ※平成27年度以降の一般戦災総合データベース整備については、CMS(コンテンツ・マネジメント・システム)を活用し、職員自らが行うことにより対応することとしており、これにより一般戦災総合データベース整備経費は発生させない。									
実施方法	委託・請負									
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求				
		当初予算	7	7	7	0	0			
		補正予算	0	0	0	0				
		前年度から繰越し	0	0	0	0	0			
		翌年度へ繰越し	0	0	0	0				
		予備費等	0	0	0	0				
	計	7	7	7	0	0				
	執行額	2	2	1						
執行率(%)	29%	29%	14%							
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度		
			成果実績	-	-	-	-	-	年度	
			目標値	-	-	-	-	-		
			達成度	%	-	-	-	-		
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載							<input type="checkbox"/> チェック			
定量的な成果目標の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由			定性的な成果目標と24~26年度の達成状況・実績						
	電子情報化し整理する資料の態様は、過去の展示会の模様や報告書など様々であることから、定量的な指標を設定することは困難。			・一般戦災死没者の追悼に資するため、一般戦災に関する収集資料等を整理。 ・平成24年度から26年度までの間において、展示会の模様や報告書などを適切に電子情報化し整理。						
事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度		
	一般戦災総合データベース経費を発生させないこと(平成27年度以降)	一般戦災総合データベース整備経費	実績	百万円	-	-	-	27年度	年度	
			目標値	百万円	-	-	-	0		
			達成度	%	-	-	-	-		
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込		
	一般戦災死没者の追悼に資するため、一般戦災に関する収集資料等を整理。			活動実績	-	-	-	-		
				当初見込み	-	-	-	-		
単位当たりコスト	算出根拠			単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込		
	定性的な指標のため、単位当たりコストは算出できない。			単位当たりコスト	-	-	-	-		
				計算式	-	-	-	-		
平成27・28年度予算内訳(単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由						
	計	0	0							

事業所管部局による点検・改善						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		-			
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	・一般戦災に関する収集資料等を電子情報化することで整理し、一般戦災死没者の追悼に資する。		
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		-			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-			
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-			
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		-			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		-			
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	・収集資料等の保存先であるホームページの改修は、修正内容を見直した結果、小額随意契約となったため、不用率が高くなった。		
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		-			
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		-			
関連事業	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-			
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
点検結果・改善	点検結果	一般戦災に関する収集資料等を電子情報化し、着実に整理している。				
	改善の方向性	一般戦災死没者の追悼に資するための一般戦災に関する収集資料等については、平成27年度以降はCMS(コンテンツ・マネジメント・システム)を活用し職員自らが行うことにより対応することとしており、一般戦災総合データベース整備経費は発生せず計上しない。				
外部有識者の所見						
外部有識者による点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
終了予定	平成26年度限り。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
予定通り終了	平成26年度限り。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	0154	平成23年度	0154	平成24年度	0147	
平成25年度	0147	平成26年度	0145			

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)



費目・用途
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)

A.民間会社			E.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
-	-	-			
計		0	計		0
B.			F.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
計		0	計		0

費目・用途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

支出先上位10者リスト
A.民間会社

支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1 (株)インフォ・クリエイツ	ホームページ移行	0.9	随意契約	-

支出先上位10社リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載

チェック